





み

拾玉集七 心るまきんうらもいととらる みるいりてあはれぬん
 新葉巻三 洞川村も床をうらうらなるを みるいりてあはれぬん
 拾遺草上 多うのひらりてのころもうら みるいりてあはれぬん
 後撰撰雜 昔よりかえもいつは成ぬん みるいりてあはれぬん
 拾遺草中 ありて川今もあはれぬん みるいりてあはれぬん
 新子巻下 今もあはれぬん みるいりてあはれぬん
 子裁巻三 ありてあはれぬん みるいりてあはれぬん
 後撰拾遺 ありてあはれぬん みるいりてあはれぬん
 後衣三 ありてあはれぬん みるいりてあはれぬん
 新撰古巻 ありてあはれぬん みるいりてあはれぬん
 玉葉春下 ありてあはれぬん みるいりてあはれぬん
 後撰拾遺秋 ありてあはれぬん みるいりてあはれぬん
 新撰古巻 ありてあはれぬん みるいりてあはれぬん
 同雑上 ありてあはれぬん みるいりてあはれぬん



類抄ナ

源光正

玄輝門院

山階入彦

善好法師

後醍醐天皇

新葉友 海にれしういほも鳴沙の郭み みるりりれまのちか 心三位同書
 新古志四 里をてわれぬじりた床のむね みるりりれまのちか 寂蓮法師
 新拾志三 いつらりたりきにもあそびあふ みるりりれまのちか 若原
 拾遺志四 多岐のすきまは風をよむたつ みるりりれまのちか よしとら
 小載雅中 自こふ洞の川はうへととと みるりりれまのちか 大江の資
 玉葉志二 色事乃びじりあはれぬのこころ みるりりれまのちか 度會宗良
 拾玉集又 ことらりねはしらのなまのこころ みるりりれまのちか 永福門院
 玉葉志一 俣川うきをさうりてさうてさ みるりりれまのちか
 夜衣一 ことらりねはしらのなまのこころ みるりりれまのちか 龜山後備前
 新拾志四 流きうのれはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 壬生二系上 つつとぬらり年ちうまゆいぬま みるりりれまのちか
 後古志二 圓のこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 風雅神祇 秋後山内かたえのこころ みるりりれまのちか 菅膳大政
 新古雅下 きりきり照日れはれぬのこころ みるりりれまのちか 入道大政
 玉葉雅三 花の雪まのまをさうりぬのこころ みるりりれまのちか
 拾遺志草 流しちうのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 新拾雅上 咲つたのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 新古志二 くのまよはれぬのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか

後拾志五 友の世さうりぬのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか 後福成成
 新葉志四 花の世さうりぬのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか 幸子内親王
 新古志四 花の世さうりぬのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか 皇后又
 壬生二系中 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 拾遺志草 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 後撰又 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 大和雅下 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 新古秋下 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 古今志二 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 壬生二系下 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 後拾撰三 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 新子尺教 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 玉葉志三 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 新子志二 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 千載雅別 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 風雅志又 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 新勅雅一 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか
 風雅志又 いろはのこころはしらのなまのこころ みるりりれまのちか

拾遺貞外 ちみり川昔カニ思も 心とら みるつと本はりまらつ
 新子書下 たらん人といさでいみん九まみ みるはは風を吹くも 民のなる
 拾遺愚草上 雲乃うへちうたはゆりまらぬれ みるはははけとてひき 冷泉道車本
 新葉書下 方のよまに立別てもちりまら みるのた乃おり成る 大納言
 拾玉集三 かのとり守宿乃りのとら九重乃 みるははは盛のこも 大納言
 新後拾書下 せめてうらちうたまよりたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新子書下 才は書といひうたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 風雅冬 雲のうへ乃らとらたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新子雜中 和音浦や江のうらたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 拾遺玄一 あり申あまのうらたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 古今序 さうたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 拾遺和名 けくたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 風雅雜上 新末をいふうらたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新子玄二 今そまらちひく煙もまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新子玄二 命あはらうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新勅露落 くらやうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 風雅雜上 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新後拾書 うち事とらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言

新葉冬 人といさとらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 拾遺貞外 けくたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 拾玉集一 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新古春下 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 夕雲 人の世のうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 風雅雜下 けくたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新後撰賀 くらやうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新葉雜一 子親おひのたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新後玄二 海士衣たらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新後拾書春 入るはらのたはらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新子玄二 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新葉冬 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 壬生二系中 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 東屋 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新千哀傷 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新後雜下 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言
 新拾哀傷 ちのうらうらまらぬほ みるははらうらうらまら 大納言

二系法親王取
 赤條染
 赤大政大
 赤大納言俊定
 六条内大臣
 指大納言俊母
 為家
 常務丹道
 一条
 中務
 右近大納言通雅

壬生二品中 玉柳甚の松よきうの時 西園寺建隆天皇
 同上 孫さく山と云ふよりつれなく 前朱雀天皇
 後拾遺上 月乃あつたけの雲をうねる 皇太后文宣天皇
 風雅中 いくつり甚れあはれをけりて 志山院清和天皇
 新千巻下 甚風や柳のまじりて 権中納言圓信
 同書上 日新くまのけりてあはれ 清和天皇
 後拾遺上 天の白雲けりてあはれ 権中納言圓信
 風雅中 塵埃の地のつれに柳をけ 権中納言圓信
 新古書上 たるせさたむつてあはれ 権中納言圓信
 拾遺貞年 春風さう山田乃さるあはれ 権中納言圓信
 新拾遺 みるせさたむつてあはれ 権中納言圓信
 同雅中 いまて世は任にいとあはれ 権中納言圓信
 玉葉雅 うれはいとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 拾玉集二 任若乃神もあはれいとあはれ 権中納言圓信
 同二 かゝる國は七わもいとあはれ 権中納言圓信
 同五 せとては年へあはれいとあはれ 権中納言圓信
 風雅雅上 冬うけてさうとあはれいとあはれ 権中納言圓信

玉葉雅 山無野の南のやまに 権中納言圓信
 壬生二品下 けりてさうとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 後古書傷 今自まてもうたけあはれいとあはれ 権中納言圓信
 風雅雅下 けりてさうとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 後千巻二 芦田のまらつてあはれいとあはれ 権中納言圓信
 新古書 柳葉もさうとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 新千巻初 いまうとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 後拾遺中 力かてさうとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 拾遺上 ぬらさうとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 後拾遺初 善てゆとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 新古書教 みる人あつたけの雲をうねる 権中納言圓信
 風雅尺教 みるやいとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 草市木 けりてさうとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 新拾遺中 任若乃神もあはれいとあはれ 権中納言圓信
 新古書 勅さるあはれいとあはれいとあはれ 権中納言圓信
 山家集上 みる人も初雪あはれいとあはれ 権中納言圓信
 後撰賀 みる人も初雪あはれいとあはれ 権中納言圓信
 新古書傷 みる人も初雪あはれいとあはれ 権中納言圓信

風雅神祇

春日山花あけぬみこころし みるごとくかきもあはれなり 中に法住

山家集下

みきんぬすりうきよほしうい みるはへんうらみちる人 及西園寺

新拾神祇

和まればほまむひうきまきなり みるをまひの種もろし人

拾遺集上

あしうきをきこきまきほむら みるをまひむつりけし人

新拾尺教

ねるうぬきとあつらんけんあつ みるをもつてむつてきん

新拾古賀

けき君けみきうむれあつて みるを世ももを照らす

山家集上

うきほしうらへんそそよまほし みるをうらむつてむつて

風雅雜下

今とらうきまきまきてむつて みるよりものきるあつて

拾玉集三

いつりれいらのちひあつて みるよりるまきるあつて

新拾古賀

まきとまきまきまきまきまき みるよりひひまきまきまき

玉葉雜三

まきつまきまきまきまきまき みるたうらむつてむつて

後拾遺集

月清くまきまきまきまきまき みるたうらむつてむつて

風雅雜

乙ける八十拾りけりて月乃 みるたるまきまきまきまき

新千文

夏草けりまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

後拾雜上

とられぬ岩ねのまきまきまき みるたるまきまきまきまき

壬生二系上

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

新千離

あつてまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

壬生二系中

旅衣志もきり月のまきまきまき みるのへんまきまきまき

新古恋三

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

後拾拾上

秋とまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

新古離列

みきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

総角

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

壬生二系上

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

玉葉冬

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

拾玉集

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

玉葉雜四

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

風雅冬

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

後拾撰雜

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

同恋二

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

拾遺集上

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

壬生二系上

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

新葉集下

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

新拾冬

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

風雅冬

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

古今秋下

まきまきまきまきまきまきまき みるたるまきまきまきまき

要四

後撰撰卷四

みぬれはうらやまの袖か 赤大納言基

新撰卷三

みぬれはうらやまの袖か 順徳院古制

後撰撰卷二

みぬれはうらやまの袖か 西宮大納言

拾玉集一

みぬれはうらやまの袖か 後撰撰

同二

みぬれはうらやまの袖か

同四

みぬれはうらやまの袖か

新撰卷二

みぬれはうらやまの袖か 赤後撰

玉葉集下

みぬれはうらやまの袖か 院中納言

新撰古卷二

みぬれはうらやまの袖か 雅成歌

玉葉集三

みぬれはうらやまの袖か 貞風

新撰尺教

みぬれはうらやまの袖か 後撰撰

後撰撰春中

みぬれはうらやまの袖か 赤後撰

後撰冬

みぬれはうらやまの袖か 赤後撰

月清集上

みぬれはうらやまの袖か 赤後撰

後撰撰卷一

みぬれはうらやまの袖か 待賢門院堀河

新撰卷中

みぬれはうらやまの袖か 赤後撰

新撰古卷傷

みぬれはうらやまの袖か 赤後撰

拾遺秋

かりいそと日れきつれ女節花 紅曾之

新撰拾遺春

かりいそと日れきつれ女節花 紅曾之

新撰古卷下

かりいそと日れきつれ女節花 源朝之節

同卷三

かりいそと日れきつれ女節花 中後撰

玉葉春下

かりいそと日れきつれ女節花 二条大皇太后

風雅五

かりいそと日れきつれ女節花 小野小町

新撰古卷上

かりいそと日れきつれ女節花 後中納言經成

新古賀

かりいそと日れきつれ女節花 赤河内侍

新撰古卷上

かりいそと日れきつれ女節花 白河院内制

後撰撰卷下

かりいそと日れきつれ女節花 中原行範

新撰拾遺二

かりいそと日れきつれ女節花 式部之明親

後撰撰卷三

かりいそと日れきつれ女節花 西園寺道

金葉賀

かりいそと日れきつれ女節花 堀河院御

風雅賀

かりいそと日れきつれ女節花 後三位頼政

後撰撰卷傷

かりいそと日れきつれ女節花 前中納言宣家

停勢物

かりいそと日れきつれ女節花

新撰卷一

かりいそと日れきつれ女節花 葉平御

山家集下

かりいそと日れきつれ女節花

後千卷下

うけの風もあひのこゝろを
みづらけをて同人もあ
漢登門院か
ひかりは思ますしん事より
みづらけをて雲のまゆげ
湯原王
つゆき

古今春下

いとあつたのちあけぬ様も
みづらけをて思ひ人よ老ねを
皇太后天皇後成
みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを

後千卷神

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
中納言

壬生二五中

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
紀のつゆき

後古春上

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
よみ人し

古今冬

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

拾遺愚草

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
よみ人し

山家集下

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

後千卷二

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

後拾遺三

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

山家集下

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

後拾遺二

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

後古秋下

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

後拾遺一

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

新葉尺教

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

新拾遺四

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

後千卷上

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

新拾遺三

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

玉葉卷一

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

金葉卷下

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

後拾遺二

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

同卷二

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

明石

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

後拾遺四

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

新古卷二

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

古今卷四

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

玉葉卷二

みづらけをて思ひ人よ老ねを
みづらけをて思ひ人よ老ねを
大納言隆親

類聚

十一

新撰古意二

みづらうのまはらぬも 津守四

山家集上

いづれにせむしは みるひとてさうらう

新撰古意一

みづらうのまはらぬも みるひとてさうらう

同古四

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

壬生二下中

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意二

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

拾遺古意中

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

拾遺古意四

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

古今古意三

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意二

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

山家集下

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

拾玉集八

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

風雅尺教

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

壬生二上上

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意四

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意上

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意上

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意上

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰秋上

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

山家集下

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意中

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意下

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

同秋上

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

拾遺古意春

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意下

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

拾遺古意一

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰古意上

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

金葉冬

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

拾遺古意上

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

拾玉集四

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

狭衣三

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

拾玉集四

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

金葉雜四

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

古今古意四

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

新撰秋下

みるひとてさうらう みるひとてさうらう

類聚

十一

津守四

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

みるひとてさうらう

後撰雜二

泪河のさくの中乃思ひ新

みもわさなるるは後抄

平長時

新撰雜二

けつをさるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

法正実實

大和地傳

かづを乃りりた下まむひぬも

みをつつらるるさくあつり

監命婦

新撰雜上

かゝあの杜の指乃乃つ時ぬ

みをつつらるるさくあつり

小光内大臣

拾遺貧外下

ほとあめんつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

中宮大女御

新撰雜三

せうらとあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

雅雅

新撰雜下

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

よらあつり

後撰雜二

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

皇太后文後成

後撰雜一

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

荒木田氏忠

新撰雜下

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

太上天皇

新撰雜下

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

後撰雜下

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

葉平朝臣

後撰雜二

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

法眼行洪

後撰雜二

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

静仁法親王

新撰雜二

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

律守國皇

新撰雜二

君う代はあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

古今雜下

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

後撰雜四

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰雜四

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

壬生二上

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰雜中

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰雜二

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

長秋詠藻

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰雜中

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

後撰雜上

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰雜一

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

拾遺愚草

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰雜上

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰雜二

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

月清集上

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

後撰雜一

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

拾遺貧外上

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰雜二

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰雜二

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

後撰雜二

山川のさくあつらるるさくあつり

みをつつらるるさくあつり

藤基法師

新撰古雅中 今贈二親書
同 道二親書
壬生二下 風草 今贈二親書
後拾雅中 今贈二親書
修勢物經 今贈二親書
新撰古雅中 今贈二親書
後拾雅中 今贈二親書
拾遺貞坐 今贈二親書
新撰古六 今贈二親書
後拾遺春下 今贈二親書
拾遺別 今贈二親書
新千雅中 今贈二親書
金葉又 今贈二親書
新千雅中 今贈二親書
同神祇 今贈二親書
壬生二上 今贈二親書
古今二 今贈二親書
壬生二下中 今贈二親書

千載意三 皇嘉門
後撰意八 同
拾遺意三 同
同意二 中勢
同意一 信實
後雅雜下 信實
新撰意一 同
後拾雅 同
拾遺意上 同
若菜上 同
後撰意四 同
後古雅下 同
小葉意八 同
後古雅上 同
壬生二下 同
同中 同
早殿 同

後撰卷三

いさよは花さるる山吹の初雪 みるさるるの玉うの雪 卜部兼直

後撰卷三

世あはれさるる人ほの國の みるさるるの玉うの雪 若原基俊

玉葉集一

河原の春よよひてありぬれ みるさるるの玉うの雪 律守國道

玉葉集五

まはれさるる春のけいも みるさるるの玉うの雪 律直

山家集上

ひろ瀬川口のの沖のむらじ みるさるるの玉うの雪 若原基俊

玉葉春上

里んわりのほしじの朝日さす みるさるるの玉うの雪 若原基俊

後撰拾秋下

層金のまらたうら春のさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

拾遺五草下

あひひのりのゆたれの秋の日は みるさるるの玉うの雪 源家基俊

後撰撰秋下

初けのさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 源家基俊

玉葉賀

あはれさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 源家基俊

古今撰後

あまのさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 安倍仲磨

長秋詠藻下

今綱アふれあはれさるるけい みるさるるの玉うの雪 安倍仲磨

千秋神祇

天のさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

後撰卷三

穴あはれさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

拾遺雜賀

あはれさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

拾玉集七

泉川さるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

同又

雪さるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

後拾雜上

さるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 中道言教良

同神祇

さるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

新勅賀

天乃下るるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

拾遺五草

年乃下るるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

新中春下

木のさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

壬生二下

時あはれさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

月清集上

うねさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

後古三

あはれさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

後十神祇

林葉にさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 前僧心實

壬生二上

うねさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

新拾衣

さるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

烟花集

あはれさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

後撰撰春上

あはれさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

新撰春上

今よりさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

玉葉春上

梓弓さるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

拾遺集外上

さるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

後撰撰春上

白砂の神さるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

玉葉春上

雪はさるるけいあはれさる みるさるるの玉うの雪 若原基俊

後古秋上

後芽生れ霜降むも風り
みればもくまのふり
返るる秋風馬

拾遺愚草

移りあつてけりさ波あふ
みればあひいそめ
返るる秋風馬

後千秋上

朝露乃とけき草原山風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新勅意又

雅もあられみくきあふ
みればあひいそめ
返るる秋風馬

拾遺意一

何れもあられみくきあふ
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新古秋上

うかろあふらるる秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新古秋上

くされお花くくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新古秋上

千早秋神ふきあふ秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

拾遺真外上

かろくくくくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新古秋上

あふらるるくくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新勅社祇

あふらるるくくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

長秋詠草下

法乃ふきあふくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新古尺教

今そられ目とみくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

玉葉雅一

くく家くくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

拾遺愚草上

いり水月あふくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

拾遺真外上

むくくくあふくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

後拾報上

色ろくくくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

拾玉集四

あひくくくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

常盤井道

拾遺真外上

秋乃田とてくくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新後古春下

けみよとまろくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

後拾撰意

あひいむくく秋風り
みればあひいそめ
返るる秋風馬

拾玉集一

くくくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

古今哀傷

あふくくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新拾意二

あふくくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新葉雅上

かきくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

句花秋

ゆくくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新勅冬

村雲あふくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

後古冬

くく世川くく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

玉葉春

くく原雲井くく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

後拾報上

桂のくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新勅雅四

あふくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

壬生二系中

あふくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

古今意四

あふくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新古雅上

あふくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

拾遺意四

あふくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新後古雅中

あふくくくく秋乃月
みればあひいそめ
返るる秋風馬

新葉秀茂

拾玉集五

同五

月清集上

後後撰卷二

新撰拾玉下

壬生二平上

山家集上

拾遺愚草上

風雅雜上

多載卷下

後後撰卷二

拾遺愚草

壬生二平中

新拾卷

後千卷

千載卷

壬生二平上

新撰古卷二

君の代わりのいもわりのあはれ

すゝ味のよそ今そのふさ白

種さるるろの園をねのう

いふのふみとるは月のまも

こころ我れこゆひの初霜よ

村をよむ櫓乃ちうしきと

雲かよせりも物とありのや

雲うらなるらふけのあゝん

かゝるじとるるとこれ風をそ

曇るよらつ花みまにかきりし

夏ら海を秋もひ川乃せとる

ちろ衣わり久きわを川をけ

孫わすれわの乃と春いふん

浪く浪社も涼し古野川

けきそまの海うらうらまじり

いほももけらわのあふ月を

みか人乃いひりりら多風は

弟のこゝろ思ひるはうきせし

あそらつとむらまゝあふ

足そらけつあふりきり

あそら此月を多たれ

あそらこれわつ秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

右大おれ類

八道二平親道

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

伝書極極

拾遺愚草

新勅卷

新千卷

新拾卷

拾遺愚草

壬生二平上

後後撰卷二

古今序

新後賀

同賀

新千林紙

玉葉卷

古今卷四

風雅冬

金葉集

後拾卷

拾玉集二

同二

みくけのあはれ

風うらうら小川のあはれ

まごけのあはれ

大ぬらわのあはれ

まごけのあはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あはれ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

あそらあまの秋をあふ

西園寺

前中絶言定家

後三位信久

右京左衛門

後醍醐天皇

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

新拾遺集 人々よは法のまねまつて人も みのあつらふおぼさる人 後个一は
 壬生三京上 ぬらふまねをそつらむ杜若 みのれらも昔は日向守
 風雅文 風かふ山松うはれゆきまみ みのらうらもらそてて花 今初道直を
 新葉雜中 いそとつたふをそておぼさるぬ みののうはの松ありまき 中務宗良親
 後古雅上 人もくぬ若事もそつらまき みのたうはの秋乃まき 順徳院
 拾玉集四 とみくうらふ世は昔はまき みのあつらふおぼさる人 源貞親
 風雅報上 山平は日影をそつらまき みのあつらふおぼさる人 坂上是則
 古今秋下 新葉はれまられらうらまき みのあつらふおぼさる人 拾中地言雄
 後子冬 新田のゆきまらゆき流のまき みのたうはのゆきまらゆき 後松親良
 壬生三京中 世はつてまらぬ都をまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき 右大臣
 拾玉集一 松陰のうらまらぬ宿のゆきまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき 僧慈有妻
 新葉賀 又月面は海若たうらまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき 春後松親
 十載物名 いなり山若たうらまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 新葉古雅上 かきむらり緑もまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 拾玉集七 船みまらり伊もまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 後衣四 日まらすまらゆきまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 後葉物傳 まらまらゆきまらゆきまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき

後拾遺集 いふもかかちて中川乃 みのたうはのゆきまらゆき 民乃る花
 月清集上 久くは元乃まらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 後撰文六 けくならぬ山深川にまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 古今哀傷 なく後をまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 同離別 あつてつらぬ後まらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 新葉古雅 ようらゆきまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 拾玉集六 山の井たうらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 後葉物傳 よひとふ蝶のあまもまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 山家集下 山雲は谷のかげひのまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 拾遺負上 くらぬまらぬまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 同下 月面をうらつらまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 後拾遺集 秋の田はまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 同秋上 まらぬまらぬまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 後葉物傳 なくてかかちてまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 新葉文 玉かかちてまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 新葉集 玉かかちてまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 後衣三 まらぬまらぬまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき
 玉葉文 けくならぬまらぬまらぬまき みのたうはのゆきまらゆき

民乃る花
 後松親良
 右大臣
 僧慈有妻
 春後松親
 源貞親
 坂上是則
 拾中地言雄
 後松親良
 右大臣
 僧慈有妻
 春後松親
 源貞親
 坂上是則
 拾中地言雄

凡雅春下 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 殊拾之 一年を強くまゆは海流つ歌 みるなげきれ極のあせ 正三位松永
 拾遺之 三 河東の山乃まきすは金草の みるのこひき君のさふ よろこぶ人
 山家集上 ありつらむらむ極のいりあらん みるのいほむらむけあせの
 拾玉集四 外山よりまきくはあせまきり みるのいほむらむけあせの
 新古今 ありしつらむらむけあせまきり みるのいほむらむけあせの
 新古今上 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 新古今下 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 月清集上 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 月清集下 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 後撰冬 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 山家集下 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 山家集上 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 拾遺愚草 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 同上 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 新古今上 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女

後拾遺愚草 山乃まきすは金草の みるのこひき君のさふ よろこぶ人
 金葉賀 暮乃四のあせ乃細るくは海 みるせきうくく苗代の比 九条元太女
 壬生二平下 いりくまらむらむけあせまきり みるのいほむらむけあせの
 古今昔上 山極よりまきくはあせまきり みるのいほむらむけあせの
 新葉秋下 あせのくはあせのくはあせの みるのいほむらむけあせの
 拾遺愚草 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 壬生二平下 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 拾遺之 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 拾遺愚草 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 凡雅之 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 月清集下 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 長秋詠藻中 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 壬生二平上 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 新古今下 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 後撰撰冬 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 凡雅之 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 新古今上 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの
 同尺教 みるのいほむらむけあせの みるのいほむらむけあせの

新古今古 けしきをいふ秋のうらやま風をうら みるはらうり時つらしの夢 大納言通具

後古秋下 三笠山月さのちつささるけ みるはらうりささるけ 光明筆 入道 七十六

拾玉集七 山里のけしき 風をうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

後拾玉集上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

新拾玉集上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

同書下 小初瀬のけしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

風雅雜中 山人のけしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

新古今雜上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

風雅雜上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

新古今雜中 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

拾遺愚童 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

千載友 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

拾遺愚童 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

新古今雜中 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

金葉集冬 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

拾玉集四 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

後千載上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

壬生三上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

後拾遺春 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

月清集上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

何苑賀 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

拾遺愚童 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

拾玉集一 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

千載冬 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

後撰冬 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

千載雜上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

後撰雜上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

新千載上 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

新千載冬 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

山家集下 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

新古今教 けしきをうらうら みるはらうりつらつら みるはらうりつらつら 後 大納言 七十六

後拾遺集上

谷川をたつてつる渾まみよの

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

拾遺愚草

ふかき雲をくもる雲は

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

古今秋下

秋風の吹く白くも

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

新古今

やうはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

壬生二京中

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後拾遺集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

月清集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

新古今

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

壬生二京下

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

同下

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

拾玉集七

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後拾遺集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

新古今

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

拾玉集七

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後拾遺集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

新古今

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

山家集下

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後千雅中

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

新拾秋下

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

玉葉集三

山里乃々

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後拾遺集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

拾遺愚草

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

拾玉集五

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後拾遺集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

句花賀

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

月清集下

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

同下

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後拾遺集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

新古今

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後拾遺集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

拾玉集一

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

壬生二京中

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

玉葉集一

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後拾遺集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

山家集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

後千集上

あつたはれはあはれ

みねのさきまはなりはまの 後拾遺集上

類古

七九

宜秋門院丹後

拾玉集四

壬生二系上

後拾遺三

古今秋下

後古雅上

拾玉集一

新撰古雅上

拾遺五草

拾遺負外

壬生二系上

金葉集

新千雅中

後撰雅四

拾玉集三

拾遺三

千載文

寄本

明石より月影をうつる風

あはれめてあそぶ一層をみれば

とよ月の後乃ほそくしり神の

とよ月の後乃ほそくしり神の

松うけの入海をきくまの

後川いづるせうりるうん

唐のほもくくしり秋をみれば

むしりのゆりけをみれば

大を秋をきくまの

ひきりて月を秋をきくまの

夕立をきくまの

はらりてあそぶ谷川のゆり

流をきくまの

あまの川をきくまの

とよ月の後乃ほそくしり

大井のうらみ

昔のあつち

うらみ

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

みちのくに秋乃松

後三位行家

つゆき

前内侍

大浦

中納言

肥後

白太夫

世

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

久

拾玉集七

暮のやうに四方乃山意は秋を

みまきりしとあへりたり

後古尺教

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

長秋詠藤下

袖の上は玉の光れをともぬく

みまきりしとあへりたり

拾遺愚草

くさくさしり言さうまもる人

みまきりしとあへりたり

拾玉集三

くさくさふれん乃うたれりゆ

みまきりしとあへりたり

拾遺愚草

月はゆき霜よりやむしうらん

みまきりしとあへりたり

同上

ゆくゆくてもあはれとあはれ

みまきりしとあへりたり

拾遺愚草

あめのむらさきひつるあはれ

みまきりしとあへりたり

山家集下

松の下の雪よりわかれさるわや

みまきりしとあへりたり

拾遺愚草上

あまのわが浦のまゝ風雲きて

みまきりしとあへりたり

長秋詠藤下

葉のなをれ霜よりわかれ

みまきりしとあへりたり

句苑集

紅乃うさきたるうさきたる

みまきりしとあへりたり

玉葉秋下

うさきたるうさきたるうさきたる

みまきりしとあへりたり

拾玉集四

うさきたるうさきたるうさきたる

みまきりしとあへりたり

壬生二系上

あまのひらき我とむ言のうさきたる

みまきりしとあへりたり

拾遺愚草

秋乃うさきたるうさきたる

みまきりしとあへりたり

同上

あまのひらき我とむ言のうさきたる

みまきりしとあへりたり

拾玉集四

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

同七

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

同四

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

同一

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

新拾遺下

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

拾玉集六

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

新の志四

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

後古春上

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

拾遺愚草

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

風雅志三

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

拾遺愚草

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

拾遺愚草外

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

新葉集上

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

風雅報中

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

後拾遺下

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

新拾遺秋下

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

後拾遺撰

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

新の秋下

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

後拾遺冬

くさくさたるを乃むもに霜より

みまきりしとあへりたり

類句

三十一

新孫古林下

去つての葉もさるも林うひの みむろれい秋の葉かを 前大僧道意

孫拾雅冬

林なひのいせの杜の冬枯し みのろのまの葉よりけり 信實親尼

月清集上

雲ハ度とまきやうとま林まや みむろれい山とれり林と

孫拾雅秋

かひてうの本葉もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

壬生二平中

恐ひ後也やうの林神甫依れ みむろれい山とれり林と

古今秋下

新田川お葉もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

拾遺冬

とら川もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

大和物語

立四川もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

新勅女

月も日もかきりゆけもいひにや みむろれい山とれり林と

玉葉賀

よも葉もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

新勅冬

善や中経自教の雪とひきまき みむろれい山とれり林と

拾遺夏草

神うまやうの雪とひきまき みむろれい山とれり林と

孫千夜

空四河行乃流もまきひぬ みむろれい山とれり林と

新勅秋下

時雨冬人福もまきひぬ みむろれい山とれり林と

金葉冬

立四川もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

孫拾雅秋

冬のかみもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

壬生二平下

とら川もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

新葉集上

善風もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

孫古林祇

捨子乃さるも林まひの みむろれい山とれり林と

玉葉尺教

あつむもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

新葉尺教

偶つあつむもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

孫古雅下

幾なうもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

拾遺意又

名もつあつむもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

好撰雅一

あつむもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

壬生二平下

むつもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

孫拾雅上

さふもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

壬生二平下

我意もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

伴野物語

中へもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

孫古意又

中へもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

玉葉雅三

絲のうらもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

孫千雅中

さうもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

新勅雅上

我もさるも林まひの みむろれい山とれり林と

山家集上

けもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

拾遺意草上

そのもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

新勅意六

うもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

孫拾雅上

なるもさるも林まひの みむろれい山とれり林と

後拾遺三

かたへきもりのとておぼえ

みりりりりりりりりりり

院師御衣

拾玉集三

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

同四

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後古尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新葉尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新載尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後拾遺下

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新勅尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新後古尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新葉尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

同尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後拾遺下

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

拾遺愚草

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後千尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

拾玉集四

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

玉葉尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新勅尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新後古尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

拾玉集三

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

俊成師

同四

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

同三

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後拾遺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

拾玉集五

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後拾遺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後古尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

同尺教

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

拾玉集四

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後撰意又

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

大和抄宛

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

風雅雜中

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新後拾遺春

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新後雜中

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新千五

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後撰雜三

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

拾遺愚草

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

新後拾遺

しりりりりりりりりりり

みりりりりりりりりりり

後人

新拾秋下 妻のつらさ知りぬきぬき世を
 後拾雅上 吹けりもあはれは移りて移り
 五葉雅又 けりあつらひあはれとて世も
 十載哀又 さあぢあはれぬ世も
 同巻二 ころあはれも人よきをけり
 新拾神祇 神やうせのうまをまを
 後拾撰雜 なるうせのうまをまを
 風雅雜下 あさきぬ世のうまをまを
 後古雅下 せきもあはれぬ世も
 後拾拾巻二 かきもあはれぬ世も
 五葉雅五 わるも世をまを
 後拾雅中 大いけりも世をまを
 新拾拾雅下 なるもあはれぬ世も
 新十雅中 なるもあはれぬ世も
 拾玉集一 じのうまをまを
 五葉巻一 さあぢあはれぬ世も
 後拾拾雅中 なるもあはれぬ世も
 拾玉集一 うさきもあはれぬ世も

小野小町
 兼盛并入前
 前大徳言る氏
 源後打抄氏
 花南无大
 伏見院清
 前大政大臣
 太上天皇
 前大徳言る氏
 中臣祐成
 前大徳言る氏
 前大徳言る氏
 惟宗忠家
 若原親朝下
 若原自忠

壬生二平中 昔向山をさるはるも中も
 後拾拾雅 何事もあはれぬ世も
 新拾拾雅上 後の世もあはれぬ世も
 新葉巻二 さあぢあはれぬ世も
 後拾拾雅 なるもあはれぬ世も
 後拾雅中 なるもあはれぬ世も
 新子雅中 なるもあはれぬ世も
 後拾拾雅下 なるもあはれぬ世も
 葵 かなもあはれぬ世も
 後古雅上 うさきもあはれぬ世も
 後拾遺雅 なるもあはれぬ世も
 新拾雅中 なるもあはれぬ世も
 新葉雅下 なるもあはれぬ世も
 新拾哀傷 なるもあはれぬ世も
 拾玉集六 なるもあはれぬ世も
 新千巻三 なるもあはれぬ世も
 拾玉集一 なるもあはれぬ世も

妻加門後家
 若好法師
 若酒大臣
 源宗成
 侍從能保
 合道二平親
 兼盛法師
 後三位忠兼
 源雅通下女
 道洪法師
 中院入道二平
 隆信卿氏
 源後打抄氏
 後拾遺雅

拾玉集一

わの山まじ月影分あまみはりきふはあやう

新拾遺二

いさまじくはひるすはくうみはりきふはあやう

新葉雜中

思ひのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

拾玉集二

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜

思ひのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺古意四

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜下

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺撰雜上

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺古一

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜中

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

千載雜詩

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

古今古一

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

月清集上

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

拾玉集二

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

拾遺古草

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

拾玉集六

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜秋

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

小葉集

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺秋

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新千種紙

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺古

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

拾玉集三

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

拾遺古

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新千種紙

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺古

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺古

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺古

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺古

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺古

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺雜

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

新拾遺古

あまのうらみはひるすはくうみはりきふはあやう

續抄

拾遺

中京宗典

残十冬

雪ぬらふふつりし雪の積る みのつらふふつりし 法皇御製

後撰雜二

思ひ出くるとまのふとふと みのつらふふつりし 法皇御製

拾遺雜

ちんちんちんちんちんちん みのつらふふつりし 法皇御製

新撰古雜

雲かろまの核の青もさる みのつらふふつりし 法皇御製

同冬

吹あろまの青もさる みのつらふふつりし 法皇御製

新葉冬

吹あろまの青もさる みのつらふふつりし 法皇御製

残十冬

又月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新撰古高

いづれんまをりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

同秋上

秋の月山の雪あつる みのつらふふつりし 法皇御製

残古冬

衣をたぬたぬと河をりし みのつらふふつりし 法皇御製

千載名

又月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

金葉冬下

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新葉冬

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

風雅尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

拾玉集七

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

拾遺草

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

拾遺冬一

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

後撰雜

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

壬生二系中

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

風雅冬

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

拾遺草

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新撰名

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

残千尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

残古尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新撰尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新撰尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新撰尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新撰尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新撰尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新撰尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

新撰尺教

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

拾遺草上

あまの月あまは流てりし山川乃 みのつらふふつりし 法皇御製

類聚

類聚

類聚

後撰雜二

月... 贈太政大臣

拾遺夏

髪... 坂上守城

後拾遺秋

月... 前大進言任

山家集上

木葉... 世本西延寺

新古今春下

花... 敦原道信

同雜上

月... 敦原秀経

古今春下

吹... 公任卿

拾遺雜春

ゆ... 信専法師

新古今雜上

あ... 前中納言

後古雜別

吹... 顯宗天皇

新後拾遺春

入... 前中納言

新葉雜中

君... 前中納言

月清集

い... 前中納言

同下

林... 前中納言

同下

里... 前中納言

新古今秋上

叶... 前中納言

新葉雜三

此... 前中納言

拾遺會外

花... 前中納言

新後古秋上

た... 前中納言

風雅雜中

向... 前中納言

後古集上

如... 前中納言

新拾遺上

た... 前中納言

拾遺愚草

梅... 前中納言

新後古雜

そ... 前中納言

若紫

ま... 前中納言

風雅雜中

谷... 前中納言

月清集下

う... 前中納言

後古秋上

中... 前中納言

拾玉集又

お... 前中納言

同六

今... 前中納言

月清集上

そ... 前中納言

風雅之

ま... 前中納言

後拾遺雜

か... 前中納言

拾遺會外

う... 前中納言

拾遺愚草

あ... 前中納言

類聚

類聚

千載秋下

さびしきと何よと人々をふる

みまのさびしきものぞ

惟宗廣言

五葉雜四

思ひやまの月うらみの思ふにぬ

みまの思ふは雲のうらさを

皇太后天皇後

新古今冬

ありまじき雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

入道前大臣

山家集上

結ぶ心とんつねねとあはれり

みまの思ふは雲のうらさを

入道前大臣

拾遺雜出

うらみけの雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

右大臣長祿

若紫

うらみけの雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

右大臣長祿

新古今上

雲さそふ月うらみの思ふにぬ

みまの思ふは雲のうらさを

皇太后天皇後

拾遺愚皇

雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

皇太后天皇後

新古今冬

君さそふ雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

右大臣長祿

新古今冬

草枯つ雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

前中納言定家

後千冬

わささつ雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

右大臣長祿

壬生二系中

ゆらゆら雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

後拾遺別

つねねとあはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

詞花別

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

新古今冬

雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

拾玉集又

我あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

山家集下

世中雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

古今春上

雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

後拾遺秋

いづれも雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

新拾遺中

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

拾玉集五

ひえの山いつら風さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

同又

秋の山いつら月さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

新千載秋

いづれも雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

金華集

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

山家集

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

新古今上

東より雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

千載秋

いづれも雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

後撰書下

秋の山いつら月さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

新古今下

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

新千載秋

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

壬生二系中

けつり雪さそふ心ゆく

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

月清集上

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

壬生二系上

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

新古今冬

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

後拾遺秋

あはれり

みまの思ふは雲のうらさを

源道俊

源道俊

源道俊

源道俊

拾玉集四

新葉集四

拾遺集三

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

法服湛助

道徳法師

按察使

中宮内侍

源義将

源義将

源義将

源義将

源義将

源義将

源義将

源義将

源義将

源義将

源義将

源義将

源義将

拾玉集四

月清集上

残古雜中

残千羅旅

玉葉集一

山家集下

拾玉集五

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

新千羅旅

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

みづゝのこゝろをいふ人

菅贈太政大臣

永福院内侍

世良親王

衣笠内大臣

永福院内侍

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

菅贈太政大臣

玉葉集 淺風さむきうねのけり村
 新葉冬 ありと風いづらうらまふ
 新後拾遺春 ともうらうらまふ
 新勅雅三 ともうらうらまふ
 新後拾秋上 いづらまふ
 新古名傷 白雲のけりたひ
 壬生二上 ともうらうらまふ
 金葉別 ありと風いづらうらまふ
 新千載別 ありと風いづらうらまふ
 月清集上 ともうらうらまふ
 古今ま上 ともうらうらまふ
 後古春下 ありと風いづらうらまふ
 拾遺愚草 ありと風いづらうらまふ
 月清集下 ありと風いづらうらまふ
 後拾遺雅 ありと風いづらうらまふ
 風雅春中 ありと風いづらうらまふ
 後拾遺春上 ありと風いづらうらまふ

新後拾遺春 ありと風いづらうらまふ
 新葉書上 ありと風いづらうらまふ
 後千尺教 ありと風いづらうらまふ
 後拾遺春下 ありと風いづらうらまふ
 小家集下 ありと風いづらうらまふ
 拾遺愚草 ありと風いづらうらまふ
 拾玉集四 ありと風いづらうらまふ
 後千雅上 ありと風いづらうらまふ
 後拾遺雅五 ありと風いづらうらまふ
 玉葉秋下 ありと風いづらうらまふ
 新勅書上 ありと風いづらうらまふ
 拾遺愚草 ありと風いづらうらまふ
 後古野旅 ありと風いづらうらまふ
 後拾遺雅六 ありと風いづらうらまふ
 風雅報中 ありと風いづらうらまふ
 新古報上 ありと風いづらうらまふ
 後拾遺雅七 ありと風いづらうらまふ

類聚

類聚

信專法師
 中務宗良
 因食上人
 後惠法師
 法中覺寛
 唐賢二母
 慈道法親
 式子内親
 皇太后
 中興言定家
 式子内親
 後二位行家

玉葉雜一

拾玉集七

玉葉集

玉葉二

拾玉集一

玉葉集三

玉葉秋下

金葉別

新撰古

新撰古

後撰撰

玉葉雜三

拾遺負外

山家集下

玉葉集

拾玉集二

風雅旅

吹風と君と... 蓮生法師

草抄り... 中絶言家

東海... 永福門院

雪の電... 永福門院

唯... 中絶言家

月... 皇太后

い... 泰源

ゆ... 後鳥羽

思... 後鳥羽

旅... 法眼

う... 法眼

さ... 法眼

山... 法眼

色... 法眼

ひ... 法眼

そ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

あ... 法眼

玉葉集上 松の雪まきぬわしの春のまよ みるものあはれは半しゆくまよ 本中納言定家

拾玉集三 春まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

同四 冬てねん猿の子の本まよまよ みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

風推秋下 秋まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

拾遺愚草 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

新古撰旅 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

玉葉集下 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

新古撰旅 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

玉葉集上 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

新古撰旅 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

玉葉集上 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

新古撰旅 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

玉葉集上 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

新古撰旅 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

玉葉集上 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

新古撰旅 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

玉葉集上 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

新古撰旅 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

玉葉集上 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

新古撰旅 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

玉葉集上 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

新古撰旅 冬まよふ心いつそいまより みるものあはれ乃々まよ乃々 増基法師

孫好撰多 里なれぬ山あきまひかて雪 みるの人のりもをせぬ 宇治宗良
 孫古雅上 ちこれのこもをたし置かぬに みるの人のりもをせぬ 花九太片
 孫子文 杜鵑をとうろうと初まぐれ みるのひのさうぬをせぬ 道法親王
 山家集下 弟をたしむる神よとてをせぬ みるのひのさうぬをせぬ
 関花友 山さそれいひまあられりき みるのひのさうぬをせぬ 道命法師
 新古雅上 あひやれなよとをせぬをせぬ みるのひのさうぬをせぬ 惟明親王
 玉葉友 露よきん枝のあひやれをせぬ みるのひのさうぬをせぬ 前中池言家
 新孫好撰 ちりり鳴よまけり風うらやま みるのひのさうぬをせぬ 隆信親王
 新勅雅四 あひこれまうたのぬとさうら みるのひのさうぬをせぬ 源信明親王
 拾玉集四 むらぬぬいひのさうら白鳥を みるのひのさうぬをせぬ
 玉葉族 ぬ晴ぬ孫のやうら日すく みるのひのさうぬをせぬ 前大僧正慈桂
 孫子好撰 秋風の思やうらふさうら みるのひのさうぬをせぬ 源邦長親
 和葉族 天の原波のそらとけとめれ みるのひのさうぬをせぬ 車之
 同族 草於蒼れしうらまかてま みるのひのさうぬをせぬ 九道大僧正
 古今墨紙 ちよのあけうらまかてま みるのひのさうぬをせぬ ちよのこまう
 仔細勅撰 たまぬそをさうらまかてま みるのひのさうぬをせぬ
 新古雅族 ちるまに山風あけさうら みるのひのさうぬをせぬ 太上天皇
 拾玉集友 大さけのひうらまかてま みるのひのさうぬをせぬ

山家集上 ちちてあけ月日れりり みるのひのさうぬをせぬ
 新古雅上 ちちてあけ月日れりり みるのひのさうぬをせぬ
 壬生二下 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ 平宗宣親王
 玉葉族 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ
 風雅雅下 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ 合性法師
 拾玉集七 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ 中務宗良親王
 新葉友 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ
 拾遺貞上 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ 中務宗良親王
 新勅冬 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ 菅原為家
 風雅冬 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ
 拾遺高草 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ
 月清集上 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ
 新古雅下 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ 蜂凡
 拾遺貞上 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ
 拾玉集友 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ
 古今志三 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ
 仔細勅撰 ちの山と雪うらまかてま みるのひのさうぬをせぬ

後千巻上 此のこゝろに... 源兼成卿に
 玉葉巻一 いづこに... 西宮前上
 拾遺巻三 今月... 人まほ
 古今雜上 和四... 中絶言家持
 後拾遺巻三 其目... 惟明親王
 玉葉旅 かり...
 後衣一 あり...
 主生二巻中 ま地... 後醍醐天皇
 新葉巻旅 志あ... 冷泉道長
 同友 又月... 平安時
 後拾遺下 元慶... 人丸
 風雅巻中 船雲... 梵燈法師
 新葉巻上 され... 正三位重氏
 新巻下 儲乃... 希後雅經
 後千巻上 久望... 升平大匠
 玉葉巻下 こゝろ... 平國時
 新古雜下 如き... 若原行徳

山家集下 山つ... 道洪法師
 後拾遺秋 月... 後拾遺巻上
 新千巻四 ら... 長秋詠藻
 長秋詠藻 久... 人丸
 新拾遺傷 久... 中絶言家持
 新古巻一 人... 敦忠朝臣
 後撰巻四 他... 後撰巻一
 後衣一 あ... 同
 後撰巻三 ち... 儀子内親王
 同巻三 小... 行明の巻
 後拾遺上 玉... 信実朝臣
 後古巻一 ち... 同
 新古巻一 ち... 儀子内親王
 風雅巻四 う... 中絶言家持
 拾遺雜巻 其... 前大納言宗明
 新古巻四 結... 権大納言忠光
 新葉巻上 ぬ... 生石巻
 新古巻下 ち...

新葉雜上

後撰雜下

後古雜上

後千載中

新葉春下

何花友

壬生二系下

後拾遺一

玉葉卷三

風雅卷四

後古卷四

後撰撰友

新葉古雜

新拾遺三

拾玉集一

幻

小家集

時書いささくせん世のうらたえ みぬしとくさうとてり 幸中納言為忠

からとも雲井の秘を歎けよ みぬ山とらとらとら 女侍御子為忠

あまも袖ぬせと世のまあ みぬまらららららら 侍御親王

なみさのゆるりせん世のうらたえ みぬまらららららら 後天門院

嵐もあはれと恋はらせのうらたえ みぬ山とらとらとら 志士院

さみれ難波かりのうらたえ 見ぬまらららららら 源忠季

いさせん山のうらたえ 見ぬ世れとらとらとら 典侍敦子堀

念れと思ひ物をいささく 見ぬうららららららら 九条左大臣

これいささくさひもあはれん 見ぬうららららららら 従三位盛親

ゆりまきさう時ふれれ浮雲に 見ぬ中直れ新うららら 曾孫好忠

まはる東風はらむとく 見ぬ念もさうさうさう 儀子親

これささかろぬんさうと 見ぬぬららららららら 廣盛法師

又月るははれ細心のうらたえ 見ぬもさうさうさう 武部親

るれ世のうらたえあはれいさの 見えつらゆと誰かかん 源貞世

見ぬまららららららららら みるつらゆと誰かかん 源貞世

人さうさうさうさうさうさう みるん物を今れさうさう 源貞世

大定さうさうさうさうさう みるぬ玉のゆきさうさう 源貞世

梅のうらたえさうさうさう みるんはゆきさうさう 源貞世

後拾遺二

新拾遺一

後拾遺三

新古雜上

新勅撰

拾玉集三

玉葉雜二

新後雜上

壬生二系中

新後卷四

千載雜上

風雅卷二

新後拾遺

後千載二

拾遺非系

拾遺卷

後拾遺

後拾遺上

とらぬかしのうらたえ みるうららららららら 後二位家隆

わささうさうさうさうさう みるさうさうさうさう 左大臣

雲居よさうさうさうさう みるらららららららら 堀河女侍

思ひあはれ今おぼえらららら みる月のおららららら 和泉或

いささくさうさうさうさう みるさうさうさうさう 蓮生法師

うらたえ人乃のうらたえ みるぬさうさうさうさう 入道太政大臣

さうさうさうさうさうさう みるさうさうさうさう 大仁長重

かささうさうさうさうさう みるさうさうさうさう 前左衛門長盛

見ぬさうさうさうさうさう みるさうさうさうさう 権大納言

いさせん雲井のうらたえ みるさうさうさうさう 中納言

うらたえおのうらたえ みるさうさうさうさう 若原光俊

あまも袖ぬせと世のまあ みるさうさうさうさう 宗室親王

なみさのゆるりせん世のうらたえ みるさうさうさうさう 宗室親王

糸もあはれと恋はらせのうらたえ みるさうさうさうさう 宗室親王

みさうさうさうさうさう みるさうさうさうさう 宗室親王

あまも袖ぬせと世のまあ みるさうさうさうさう 宗室親王

なみさのゆるりせん世のうらたえ みるさうさうさうさう 宗室親王

糸もあはれと恋はらせのうらたえ みるさうさうさうさう 宗室親王

新編拾遺

拾遺上

同雅上

風雅下

新拾遺下

拾遺中

新初秋上

同立一

古今志一

新後古春

後撰志四

新後古雜中

風雅中

古今志四

新葉下

拾遺雜賀

山家集

壬生志上

ふけふけのふつれ月とた

神まつるるをけうのれ白あ乃

霞の命わよるあひ君と又

わてふ初へき物とよまりの

さびるうらうらとまをあひ

まつるを井て乃川波さるり

みそ丸へのをの夕雲まくり

山のんとわけつる月のつる

山極露のまもりのうら

吉野山遊のまもりのうら

うらうらあひぬつるゆえち

いさうりまのゆえち

様とれあひぬつるゆえち

あふまての形もあひぬつる

あふまての形もあひぬつる

かきいりつるふみちるゆえち

花いりつるふみちるゆえち

らるれがふしむまのゆえち

陽子月夜

つゆき

壬生志見

吉門院小集

源順

後君右大臣

源朝

つゆき

儀同三司

よるへ

源朝豊

後二信行家

よるへ

入道前右大臣

よるへ

よるへ

よるへ

よるへ

後拾遺中

新後秋上

風雅神祇

後古志一

山家集上

後拾遺中

胡蝶

後千志二

古今志三

後勢物

山家集一

新千雜上

拾遺中

後拾遺中

新後春下

拾遺中

同上

洞花雜下

しらり花のけことあまも

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

あひまのあまの女師

平長季

入道教王道

度會家行

石行法師

大に直衛

百秋門院

なりひ

前僧

道因法師

西門

西門

西門

西門

西門

西門

西門

西門

西門

後古雅上

掃く風うつろふ雲とあまらそ
みまふりぬる清き雲あり
花中細く定家

新千雅上

秋をくみぬるまはるる
みまふりぬる清き雲あり
二条院教王護国寺

拾遺雅書

あらしきあはれ花のたより
みまふりぬる清き雲あり
鳥羽院

玉葉雅一

かぐろのほろりぬるまはるる
みまふりぬる清き雲あり
後二世家隆

後古雅上

神ぬきついでとふまはるる
みまふりぬる清き雲あり
右近大納言源母

同

みまふりぬる清き雲あり
みまふりぬる清き雲あり
源兼康朝臣

同

みまふりぬる清き雲あり
みまふりぬる清き雲あり
指中絶言る

後千三

西をさいつかりまはるる
みまふりぬる清き雲あり
前大僧正慈因

新古秋上

みまふりぬる清き雲あり
みまふりぬる清き雲あり
右近大納言

後千冬

雲のほろりぬるまはるる
みまふりぬる清き雲あり
太上天皇

新後拾遺

衣まはるるまはるる
みまふりぬる清き雲あり
一燈上人

新後拾遺下

いれまはるるまはるる
みまふりぬる清き雲あり
後二位良久

新後古雅上

うてまはるるまはるる
みまふりぬる清き雲あり
三位知家

後撰離別

みまふりぬる清き雲あり
みまふりぬる清き雲あり
いと

大和物語

わろぬあひもわろぬあひも
みまふりぬる清き雲あり

拾玉集二

とまはるるまはるる
みまふりぬる清き雲あり

山家集下

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

新千三

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

山家集上

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

後拾遺雅

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

風雅書下

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

拾遺集二

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

風雅書上

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

後千三

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

長秋詠集下

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

後拾遺賀

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

壬生二上

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

拾遺雅上

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

新後拾遺

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

後拾遺斷縁

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

拾遺雅賀

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

新後書下

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

月清集上

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

類例

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

類例

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

類例

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

類例

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

類例

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

類例

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

類例

あらしの波まはるる
みまふりぬる清き雲あり

言

拾遺負外

拾玉集七

新撰古冬

後拾遺書上

新撰雜上

山家集下

拾玉集二

古今志

大和抄後

新撰古冬

玉葉冬

同志四

後撰撰書四

金葉書

後拾遺書三

同文

十載秋上

その海もすまぬあまのあまの

月乃多きまきりも人こそそまみ

曙のききりも人こそそまみ

さゆはは良の山風さゆは良

こはまの海への舟の舟の舟

いふて一帯もり乃舟の舟

かたもろれぬま宿はけの宿

しけの宿のねよら宿もりてそ

それとてあのおまをそまをそ

曇れきまをそまをそまをそ

夕日さぬまの時をたひひ

あふりこれれもいひをそま

海よひいひをそまのそまをそ

吉野山よひをそまのそまをそ

いひをそまのそまのそまをそ

いひをそまのそまのそまをそ

いひをそまのそまのそまをそ

いひをそまのそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

後光厳院御製

後道前太政大臣

後二位兼行

真昭法師

後原忠隆

大納言忠家

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

後撰秋中

拾遺秋下

新撰冬

拾玉集二

後撰撰冬

新古冬

拾遺負外

新撰撰冬

後撰撰中

新撰撰二

拾遺撰首下

玉葉冬

子載冬

拾玉集又

新撰撰冬

拾玉集五

新撰撰冬

新撰撰賀

白玉の秋のまはまをそまをそ

あさゆらぬ入まをそまをそ

いひをそまのそまのそまをそ

小山西乃そまをそまをそ

夕暮れは風さむし波をそま

夕暮れは風さむし波をそま

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

あつらぬまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

みまののまをそまのそまをそ

後光厳院御製

後道前太政大臣

後二位兼行

真昭法師

後原忠隆

大納言忠家

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

右京良徳

新古今四 ちりあはれしるのちん世をそ みるくくちりあはれしる 指大納言兼
 新勅秋下 ころそぬいつしき月のうて みるくくちりあはれしる 八条院兼
 拾遺真上 大升何さうけしむすかきさる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 拾遺愚草 ささくはなまあはゆる海に みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新及文 市のやうり糸の糸はしりの糸 みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 壬生三系中 行舟のたま人のよしはゆも みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新及古及 ちまうりはなまはさる糸はあて みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 後及撰及 難波なるうけはもいり みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 後拾遺旅 ちれいり糸はあはゆるのかり みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 後千及 子規初きまうり時をいり みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新葉三 までといりまうりまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 同雅下 いまひん時をいりまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新及古雅 郭なるいりまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新古雅下 津の淵なるいりまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 後及拾遺三 難波なるいりまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新千雅中 河上の丹生乃松人うりまはれ みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 玉葉春 花うり月うりまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 風雅及 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼

壬生三系中 みるくくちりあはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 風雅尺教 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新千及四 うつとそ何西新乃糸うり みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 風雅及 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新及古雅 雲上はかりまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新勅雅一 あり月の月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新古及四 今まはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 後千及 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新及拾遺四 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新及古雅 風うり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 壬生三系下 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新古及 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 壬生三系下 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新拾雅中 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 後及撰雅上 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 新及拾雅下 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 後千及四 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼
 後拾雅秋 ちまうり月のまはれしる みるくくちりあはれしる 前中納言兼

孝政上人
 右京系細
 強心平邦有
 白土屋兼兼
 下野
 右衛門通具
 平貞時
 三位隆教
 崇賢門院
 西行法師
 日吉將宣成茂
 後中納言兼
 右京系兼
 中納言兼
 皇太后兼

玉葉雅一

佳人も宿もさるるをの面り
みよよとのさすれのさか
諒子氏親

後拾雅下

むしと西うりてたりとも
みよよのね月の歌ぬ
信實卿尼

新拾雅下

たつちね乃さぬ別乃後より
みよよのねをわづれ
法眼寺觀

後拾雅春中

八雲様おちる人乃ちうりせち
みよよのけつよとあは
法眼寺觀

後拾雅上

あつち吉野乃ち乃さささ
みよよのねをわづれ
法眼寺觀

後拾雅上

いづ秋の雲のねさささ
みよよのねをわづれ
法眼寺觀

風雅玄四

かろぬも中つじよも
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

後古玄三

恨てもちねもちいよ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新拾雅上

あつ乃新雲の落さつ風よ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

後千秋下

あねさう我古のさけ乃いか
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

玉葉雅一

月とね力のうねささ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

後玄四

片あめの神のさぬさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新無玄三

款さひねささぬさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新古玄四

あつぬさつれぬさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

お裁哀傷

うつとも思ひさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新拾雅四

面教乃さつささぬさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新拾古玄四

けさとも今朝のねさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

後拾雅下

いまもねさつぬ神なりさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

後拾雅秋

秋とれ月何雲のねさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新拾玄一

きえさつ雲の衣をくさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新拾雅下

神さつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新拾古玄四

か死さつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新葉玄三

う死さつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

十載玄二

惟ゆさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

月清集上

海ねさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新拾雅上

月日乃さつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

玉葉玄二

あつさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

同雅一

あつさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新葉玄四

いよせん利さつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新拾玄二

あつさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

壬生二上

あつさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

後拾雅下

あつさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新勅玄三

うさつさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

後拾雅上

あつさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

新拾古玄四

あつさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

同玄二

あつさつさつれさ
みよよの月何西うけ
法眼寺觀

拾玉集四

世はちのころは引あけ

拾遺之四

新くてもあつたあまはす

新撰古之三

到てこそよかれむと申す

新拾遺之三

世もむらさきのまはけ

同

あつれゆ雲はたはれ

拾遺之四

君よりよりきききき

同之四

こそほろほろはれ

同雅三

御は御のそとを

新勅之三

白雲乃ををを

大和物語

ををのそとを

拾遺之四

すまうはあは

新撰尺教

まうはあは

新拾遺上

何よふんも

みせうと

ちのみ

冷泉寺大政

従三位行

よふん

同

同

源宗于御片

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

